

## ■ 各委員からの意見

資料 5

質問No.	委員：加筆・修正点があれば記入してください	委員：加筆・修正の理由を記入してください	伊賀市：調査票への反映・対応など(案)
21	質問の意図は？ 調査項目として無しで良いのでは？		◎ 調査項目として残す。 口腔機能の低下について把握するため。 口の慢性的な渇き（ドライマウス）から、口臭や歯槽膿漏、虫歯などにもなりやすくなる状況があることから把握が必要と考えます。
28	携帯(けいたい)電話(でんわ) を利用(りよう)していますか →スマートフォンを利用していますか	総務省の調査と比較することを想定すると「スマートフォン」とした方が良いのではないかと。 <a href="https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r03/html/nd111430.html">https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r03/html/nd111430.html</a>	「携帯電話」⇒「スマートフォン」に変更します。
54	⑩強引(ごういん)な訪問(ほうもん)販売(はんばい)や電話(でんわ)セールス、押(お)し売(う)り →強引な訪問販売や電話セールス、押し売り、詐欺	全国平均1件あたりの詐欺被害額はおよそ200万円だが、伊賀市は400万円を超えていることから、選択肢を1つ加えても良いかも知れない。	「詐欺」を追加します。
56	友人(ゆうじん)・知人(ちじん)と会(あ)う頻度(ひんど)はどれくらいですか →友人・知人と会話の機会はどれくらいですか 問い57も同じ	項目変更は不可となっているが、会うことよりも話をしたかどうかを聞くことのほうが効果的ではなからうか。「長寿化学振興財団・人との交流と健康長寿との関連」	指摘の点について、「H30年度版高齢社会白書」において、会話の頻度による健康状態への影響の調査結果から、問56と57を廃し、「家族や友人・知人との会話の頻度はどのくらいですか」に変更します。
77	⑨高齢者(こうれいしゃ)になれば誰(だれ)もがなる病気(びょうき) →高齢者になれば誰もがなる病気である	文章として完結させる	「～誰もがなる病気」⇒「～誰もがなる病気である」に修正します。
80	影響、変化についてだけでなく、施策についての質問もあったほうが良いと思います。		「新型コロナウイルス感染症の影響について」と「今後の高齢者施策について」の設問の順番を入れ替え、最後に施策について、コロナの影響も踏まえた回答を求める形とします。
全体	他市に比べて大幅にボリュームが大きいので、せつかく頂いた回答が生かせるようにクロス集計や検定など緻密な分析計画を立てるべき。		回答を活かせるよう計画的に集計及び分析を行います。